

## オイル交換時の注意

- ・ オイルは規定量より多くても少なくても、エンジンに悪影響を与えます。入れ過ぎると——
  - 各回転、摺動部の抵抗増大による出力低下、運転中の油温が上昇し、オイルの劣化を早めます。
  - ブリザーパイプからのオイル洩れ、湿式多板クラッチではクラッチが切れにくくなったり、チェーンジフイーリングに悪影響を与える要因となります。
  - 少な過ぎると——
    - 回転部、摺動部へのオイル供給量が少なくなり、エンジンの摩耗、焼き付き等の要因となります。

- ・ ホンダウルトラオイルは、製造段階で添加剤がバランス良く配合されたオイルです。さらに市販の添加剤を注入すると、配合バランスがくずれ、油性が変化し潤滑性能に大きく影響します。
- ホンダのエンジンには、添加剤の追加は不要です。
- ご注意ください。